



のブリッジ余談（第124回）

実戦録：オープニングリード

2019.12.20

私は3rdハンドのNで

♠ Q7  
♥ AQJ1085  
♦ 7  
♣ Q864

を持っていました。3rdハンドで良い6枚ハートを持っていましたから、ライトですが1Hオープンをしました。ビッドは次のように進んで行きます：

N	E	S	W
P	P		
1 H	X	2H	2S
3 H	4D	P	4S
///			

Sは弱くてもフィットしたということを示した方がよい結果を生むことが多いのです。Eは強さ18HCPがあるので、オーバーコールよりダブルを選択したようです。（私の考えでは2Dオーバーコールの方がハンドを表すのによいように思えますが）結局Wの4Sになってオープニングリードが回ってきました。まずどのストートを選ぶべきでしょうか？ハートは少なくとも6-3フィットしましたから、取れても1トリックでしょう。しかもHKはパートナーにあるとは限りません。ダミーには非常に良いダイヤモンドがありそうです=ということは5枚おそらくは6枚のダイヤモンドがありそうです。トランプはどうでしょうか？自分にQ7があり自分から触らない限り1トリック以上取れそうです。こう考えるとトランプはありえない、相手が触ってくるまで待たなければならない。ハートはもしHAを取って、パートナーにHKが無ければディクレアラーに1トリック献上してしまう。ダイヤモンドは2トリック目にラフできても、まだ全体で4トリックを取るにはクラブを取りに行かねばなりません。しかしラフしてからクラブを出しても取れる様になるにはテンポが無いかも知れません。先にクラブを攻めていれば、トランプを刈りにきたときたぶん自分の手に入るであろう（つまりSQが取れた時にまたクラブを出しておけばこちらがクラブを取れる体制になるだろうと考えて、C4からリードすることにしました。

♠ Q7	♠ J103
♥ AQJ1085	♥ 7
♦ 7	♦ AKQJ103
♣ Q864	♣ AK10
N	
♠ K9642	♠ A85
♥ K96	♥ 432
♦ 54	♦ 9862
♣ 975	♣ J32
S	

全体のハンドはこのようになっていました。確かにクラブをリードすると、ディクレアラーはCAを上がって、まずトランプQにのフィネスをしてきます。これがNに抜けてまたクラブを出します。ディクレアラーはもしCJを持っていれば当然CQのフィネスをするでしょう。しかししませんでした、ということはCJはパートナーのはずです。ディクレアラーはCKを上が

り（もちろんディクレアラーのクラブがダブルトンかもしれません）今度はDAKとキャッシュに来ます。2回目のダイヤモンドをラフしてCQもキャッシュしてみます。これが取れたので次にHAもキャッシュします。これで1ダウン確保です。あとパートナーにはSAがあるので2ダウンしました。アザーテーブルではD7がリードされダミーからSJが引かれます。Sはパートナーに2枚しかスペードがないはずと考えてSAを上がってダイヤモンドをラフさせます。しかしあとHAを取っても10トリック取られてしまいました。

### 教訓

- 相手のストートであるこちらの短い所をリードしても相手を利するだけ
- トランプQが取れそうに見えているのにそれをラフで取ろうとしても無駄なだけ
- 強いハンドから短いストートをリードしても、ラフするためのパートナーに入れるエンターが無い
- オープニングリード次第で勝敗の帰趨が決まることが多い
- オープニングリードは、リーダーが考えるディフェンスの戦略によって選ばれなければいけない。単純に自分たちのフィットしたところから選ばれるのではなく、また損をしないだろう持ち方のカードコンビネーションから選ばれるのでもない。

このようにオープニングリードはよく考えた上で選ばれるものだと理解してください。